

1. 多忙化する教諭への支援体制を強化しては

新しい学習指導要領が実施されたことで、小学校は令和2年度から小学校3・4年生で外国語活動の時間、5・6年生は外国語学科が導入された。さらに、小学校で令和2年度、中学校で令和3年度からプログラミング教育が新たに必修化となり、新たに配備されたタブレットの研修も負担になると思われる。また、外国語学科においては、正確な発音とリスニング力の向上にALTへの依存が高まり、新たに導入されたそれぞれの授業では研修による指導力を高めることが不可欠である。

このような背景から、多忙化する教諭の負担軽減を図るため、次の事項を問う。

- ① 必修化された外国語教育とプログラミング教育についての現状と今後の支援体制の充実は。
- ② 教育の負担軽減のため、地域ボランティア等の活用や中学校では部活動指導員の制度化などによる支援策をしては。